

COATED WIRE MATERIAL

Publication Number: 2000-106039 (JP 2000106039 A) , April 11, 2000

Inventors:

- MURATA MASANAO
- TSUBAKI TATSUO

Applicants

- SHINKO ELECTRIC CO LTD

Application Number: 10-277867 (JP 98277867) , September 30, 1998

International Class:

- H01B-007/00
- H02G-003/30
- H02G-003/38

Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a coated wire material hard of dust-accumulation, easy to clean and good in appearance when wired along, e.g. a wall surface of a clean room. **SOLUTION:** This coated wire material has a plane portion 1 on the surface all over its longitudinal direction, where adhesive 2 is applied for adhesion on a wall surface. When the coated wire material is wired on a wall surface such as a ceiling, the plane portion 1 is adhered to the wall surface with the adhesive 2 and fixed thereto. As the coated wire material is adhered and fixed at its plane portion 1 to the wall surface, no dust is accumulated on the upper face of the coated wire material even if the wall surface is, e.g. a ceiling. If dust is accumulated on the side face of the coated wire material when wired on the side wall of a room, easy cleaning is ensured because there are no obstacles including fixtures on the midway of wiring. As the coated wire material is adhered directly to the wall surface all over its longitudinal direction, no other fixing member is required and no partial deflection occurs in the wire material, providing finishing in good appearance. COPYRIGHT: (C)2000,JPO

JAPIO

© 2005 Japan Patent Information Organization. All rights reserved.

Dialog® File Number 347 Accession Number 6520320

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開 2000-106039

(P 2000-106039 A)

(43) 公開日 平成12年4月11日 (2000. 4. 11)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
H 0 1 B 7/00	3 0 7	H 0 1 B 7/00 3 0 7	A 5G309
H 0 2 G 3/30		H 0 2 G 3/26	L 5G363
3/38		3/28	B

審査請求 未請求 請求項の数 2

O L

(全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-277867

(22) 出願日 平成10年9月30日 (1998. 9. 30)

(71) 出願人 000002059

神鋼電機株式会社

東京都江東区東陽七丁目2番14号

(72) 発明者 村田 正直

三重県伊勢市竹ヶ鼻町100番地 神鋼電機

株式会社伊勢事業所内

(72) 発明者 椿 達雄

三重県伊勢市竹ヶ鼻町100番地 神鋼電機

株式会社伊勢事業所内

(74) 代理人 100084135

弁理士 本庄 武男

F ターム (参考) 5G309 GA02

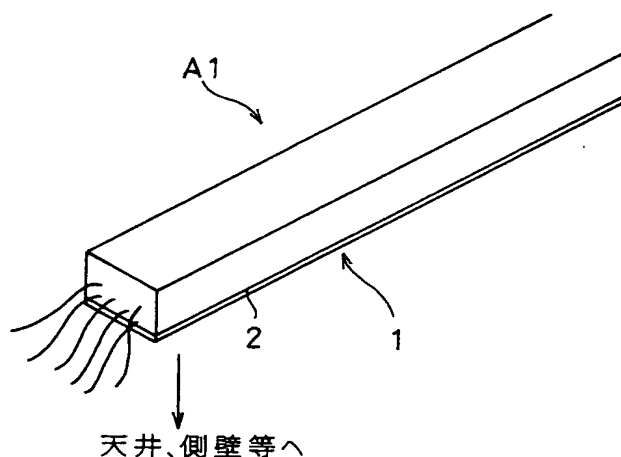
5G363 AA15 BA01 DA20 DB08

(54) 【発明の名称】 被覆線材

(57) 【要約】

【課題】 例えばクリーンルームなどの壁面に沿って配線する際に、ほこりなどが溜まりにくく、清掃がしやすく、見栄えのよい被覆線材を提供する。

【解決手段】 被覆線材の表面に、長手方向全体にわたる平面部 1 を形成すると共に、上記平面部 1 に壁面に接着するための接着剤 2 を塗布する。上記被覆線材を天井などの壁面に配線する場合には、接着剤 2 によって上記平面部 1 を壁面に密着させて固定される。このように、上記被覆線材は上記平面部 1 において壁面に密着して固定されるため、例えば上記壁面が天井の場合には上記被覆線材の上面にほこりなどが溜まることのない。また、部屋の側壁などに配線する場合に、上記被覆線材の側面上にほこりなどが溜まった場合でも、配線途中に例えば固定金具などの障害物がないため、清掃が容易である。また、被覆線材がその長手方向全体にわたって直接壁面に接着されるため、他の固定部材を用いる必要がなく、また部分的に線材が撓むこともないため、非常に見栄え良く仕上げる事が可能である。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 壁面に沿って配線される被覆線材において、表面に、長手方向全体にわたる平面部が形成されると共に、上記平面部に上記壁面に接着するための接着剤が塗布されてなることを特徴とする被覆線材。

【請求項 2】 上記平面部の上記接着剤の上面に離型紙が貼付されてなる請求項 1 記載の被覆線材。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、例えばクリーンルームなどの壁面（天井、側壁、床など）に沿って配線される電線などの被覆線材に関するものである。

【0002】

【従来の技術】例えば、クリーンルームなどを建造する際には、当初必要となる機器の配線類（例えば電線などの被覆線材）は、例えば天井内に収められたり、或いは壁面に設けられたモール内に収められるなどして、室内側に露出しないように配慮されるのが通常である。しかしながら、クリーンルームの建造後に新たに設置される機器の配線類については、これらを壁面の内部などに収めようとすると大がかりな工事が必要となるため、やむを得ず壁面に沿って配線される場合が多い。この場合には、従来は、例えば図 3（a）、（b）に示すように、配線（被覆線材）21 を固定金具 22、22' などを用いて例えば天井などの壁面に固定させていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記のような配線方法では、配線の上面側にほこりなどが溜まりやすく、また固定金具部分が邪魔になって清掃がしづらいなどの問題点があった。これらの問題点は、クリーンルームなどにおいては特に深刻である。また、配線だけでなく固定金具が露出しており、またその固定金具間で配線が撓むなど、見た目にもあまり美しいものではなかった。本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、例えばクリーンルームなどの壁面に沿って配線する際に、ほこりなどが溜まりにくく、清掃がしやすく、見栄えのよい被覆線材を提供することである。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明は、壁面に沿って配線される被覆線材において、表面に、長手方向全体にわたる平面部が形成されると共に、上記平面部に上記壁面に接着するための接着剤が塗布されてなることを特徴とする被覆線材として構成されている。また、上記平面部の上記接着剤の上面に離型紙を貼付することにより、配線時まで上記接着面を保護することができ、また配線時の作業性も向上する。

【0005】

【作用】本発明に係る被覆線材を天井などの壁面に配線する場合には、接着剤によって上記平面部を壁面に密着

させて固定される。このように、上記被覆線材は上記平面部において壁面に密着して固定されるため、例えば上記壁面が天井の場合には上記被覆線材の上面にほこりなどが溜まることのない。また、部屋の側壁などに配線する場合に、上記被覆線材の側面上にほこりなどが溜まった場合でも、上記従来技術のように配線途中に固定金具などの障害物がないため、清掃が容易である。また、被覆線材がその長手方向全体にわたって直接壁面に接着されるため、他の固定部材を用いる必要がなく、また部分的に線材が撓むこともないため、非常に見栄え良く仕上げるのが可能である。

【0006】

【発明の実施の形態】以下添付図面を参照して、本発明の実施の形態及び実施例につき説明し、本発明の理解に供する。尚、以下の実施の形態及び実施例は本発明を具体化した一例であって、本発明の技術的範囲を限定する性格のものではない。ここに、図 1 は本発明の実施の形態に係る被覆線材 A 1 の概略構成を示す模式図、図 2 は本発明の実施例に係る被覆線材 A 2、A 3 の断面形状を示す模式図である。本実施の形態に係る被覆線材 A 1 は、図 1 に示すように、断面矩形状に形成されることにより、長手方向全体にわたって平面部 1 が形成されており、上記平面部 1 には壁面に接着するための接着剤 2 が予め塗布されている。上記被覆線材 A 1 を天井などの壁面に配線する場合には、上記被覆線材 A 1 は上記接着剤 2 によって上記平面部 1 を壁面に密着させて固定される。このように、上記被覆線材 A 1 は上記平面部 1 において壁面に密着して固定されるため、例えば上記壁面が天井の場合には上記被覆線材 A 1 の上面にほこりなどが溜まることのない。また、部屋の側壁などに配線する場合に、上記被覆線材 A 1 の側面上にほこりなどが溜まった場合でも、影（線材と壁面との間の隙間）がない形状であり、また上記従来技術のように配線途中に固定金具などの障害物がないため、清掃が容易である。また、被覆線材 A 1 がその長手方向全体にわたって直接壁面に接着されるため、配線後に固定金具など他の固定部材が存在せず、また部分的に線材が撓むこともないため、非常に見栄え良く仕上げるのが可能である。以上説明したように、本実施の形態に係る被覆線材 A 1 は、長手方向全体にわたって平面部 1 が形成されており、上記平面部 1 には壁面に接着するための接着剤 2 が予め塗布されているため、例えばクリーンルームなどの壁面に沿って配線する際に、ほこりなどが溜まりにくく、清掃がしやすく、また見栄え良く仕上げるのが可能となる。

【0007】

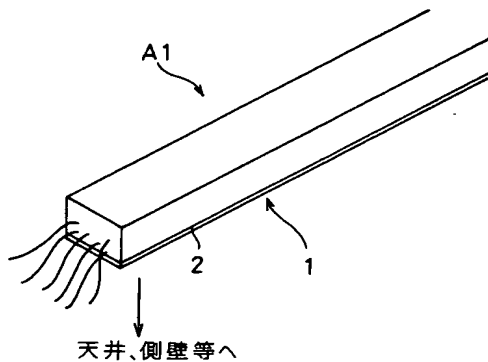
【実施例】上記平面部 1 上に予め塗布された上記接着剤 2 の上面に、予め離型紙を貼付しておけば、配線時まで上記接着面を保護することができ、また配線時の作業性も向上する。また、上記被覆線材 A 1 の断面は矩形状に限られるものではなく、図 2 に示すように、台形状、半

円状などであってもよい。要は、長手方向全体にわたって平面部が形成されるような断面形状であればよい。

【0008】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、壁面に沿って配線される被覆線材において、表面に、長手方向全体にわたる平面部が形成されると共に、上記平面部に上記壁面に接着するための接着剤が塗布されてなることを特徴とする被覆線材として構成されているため、例えばクリーンルームなどの壁面に沿って配線する際に、ほこりなどが溜まりにくく、清掃がしやすく、また見栄え良く仕上げる事が可能となる。また、上記平面部の上記接着剤の上面に離型紙を貼付することにより、配線時

【図1】



まで上記接着面を保護することができ、また配線時の作業性も向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態に係る被覆線材A1の概略構成を示す模式図。

【図2】 本発明の実施例に係る被覆線材A2、A3の断面形状を示す模式図。

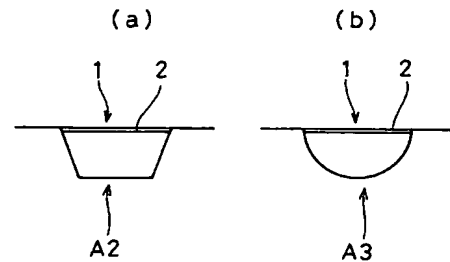
【図3】 従来技術に係る被覆線材とその固定部材を示す模式図。

【符号の説明】

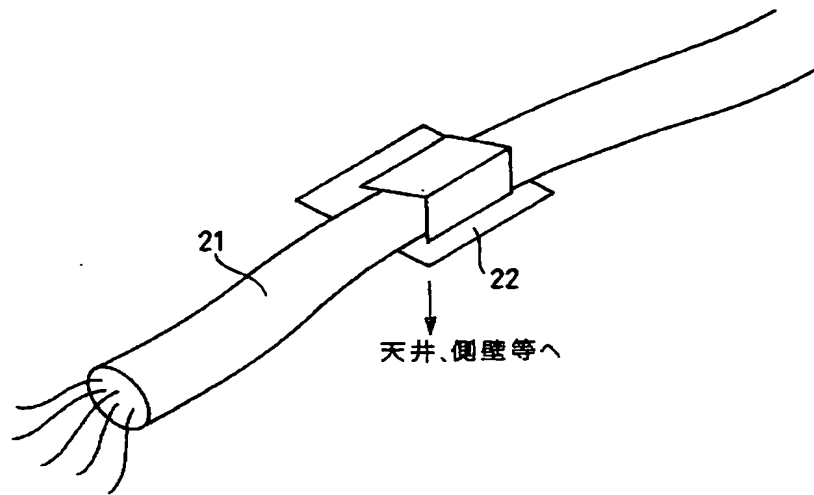
1…平面部

2…接着剤

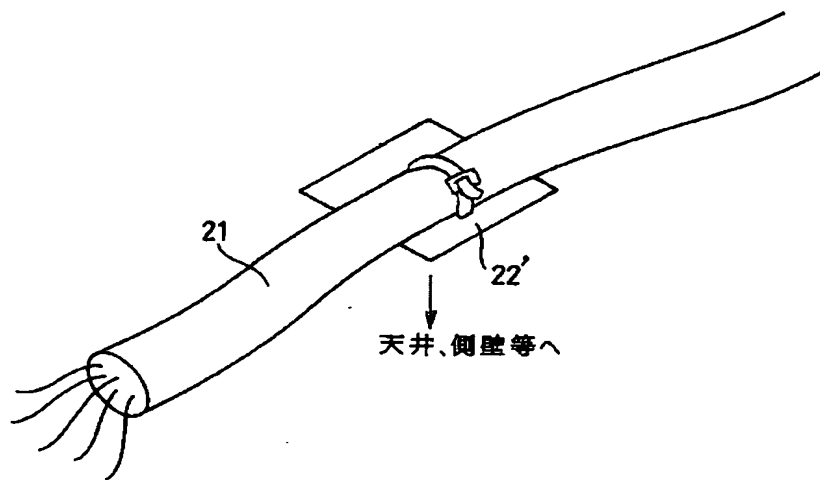
【図2】



【図3】



(a)



(b)